



一人一人を大切にしたい学級づくりをするため、  
**4月中の「みる・きく・認める」**を振り返って  
みましょう。



(参考) 西部教育局リーフレット  
～教師として大切にしたいこと～

## みる



一人一人をみていますか？  
子供集団をみていますか？

特にここに注目！

- 給食の残量の変化(健康)
- 休憩時間の変化(表情・行動)
- 友達関係の変化(環境) など



子供たちの日記や作文  
からも情報を得ることが  
できます。

## きく



子供の話しやすい状況をつ  
くっていますか？

特にここに注目！

- 話しやすい場所で
- 子供と視線を合わせて
- じっくり待って  共感して



事実だけでなく、子供たち  
の言いたいことや気持ちに  
寄り添いましょう。

## 認める



子供のがんばりや熱意に目を向けていますか？

特にここに注目！

- 目立たなくても責任をもってやり遂げている姿
- 継続して取り組んでいる姿
- 目標まで行きつかなくても、その子なりに全力で取り組んでいる姿



大きな行事だけでなく、日々の生活の中で活躍できる場を設定したり、  
教室掲示や学級通信等で、子供たちの頑張りや思いを紹介したりする  
ことも認める方法の一つです。

## 連休明けの変化に注目！



以下のような連休明けの子供たちや学級の姿が見られた場合、「みる・きく・認める」  
の視点からどのようなアプローチができるのかについて考えてみましょう。

- 学級集団が規律のない状態になった。
- 学校へ行く意欲が低下した。
- 授業を受けることが苦痛になってきた。
- 連休に昼夜逆転し、居眠りが多くなった。
- 新年度からの緊張による疲れがでた。など

